

回覧をお願いします。

# 鹿嶋さん

第 9 号  
 発行日 平成 26年9月20日  
 発行先 新屋鹿嶋祭保存会  
 発行責任者 伊藤 富美雄  
 編集 保存会広報部  
 事務所 日吉神社館

## 鹿嶋太鼓と湧水がひとつになり賑わい新拠点

六月八日、初夏の爽やかな天候に恵まれる下、新屋の伝統のお祭りである鹿嶋祭が行われました。今年の当番町は南新町が取り仕切り新屋二〇町内会と栗田養護学校の二十一の鹿嶋船が繰り出しました。

各町内の鹿嶋船には子供たちの数だけ鹿嶋人形が乗せられています。さらに趣向を凝らした人気アニメの登載人形が配置され、「無病息災」「五穀豊穡」「交通安全」「家内安全」など子供たちの健やかな成長を人形に託した短冊が鹿嶋船のぐるりを飾っています。町内を出発した鹿嶋船は子供たちの「ショー、ショー、ショー」、鹿嶋の送りしよ、寺のかげまで送るまで「ショー」の歌声高らかに日吉神社に



登載人形が観衆に向けて一斉にお披露目されました。

参拝し、神主さんからお祓いと御幣を受け取り鹿嶋船の船先に差し込みます。今年には新政酒造跡地において新政酒造跡地活用推進協議会主催の「鹿嶋祭PRイベント」が行われました。会場では栗田養護学校、新屋商店会、あらやちやび大学（美大



ショー、ショー、ショー！太鼓と笛の競演

（生）の生徒らが湧水を使用したカルピス、アイスコーヒー、コーヒーフロートのほか「アネハコアイス」がふるまわれ、集まった参加者、子供たちの喉を潤しました。

また、旧渡邊幸四郎邸では、あらや家プロジェクト（美大生）の作品展のほか、ガラス工芸家

・小牟禮尊人教授の作品展（大皿「みずたまり」）やグラスのプレゼントも行われました。

新政跡地に次々と集まった鹿嶋船から鹿嶋太鼓が一堂に集まる方法の響く「競演」となり、参加者や見物人からたくさん拍手を浴びてました。

鹿嶋祭に対してかねてより「鹿嶋船が一堂に集まる方法はないものか」との根強い要望がありました。長年の悲願を実現できた瞬間でもありました。

鹿嶋祭保存会は、新政酒造跡地活用推進協議会の加盟団体として準備に当たりましたが、今後とも鹿嶋祭の歴史と伝統と守りつつ、新屋の賑わい拠点づくりに汗を流します。

### 「新屋まちづくり基本構想」って何？

秋田市が提案する新屋まちづくりの構想です。●地域資源の活用 ●ガラス工房を中心に作家・アーティスト、人材育成 ●新屋地域活動の活発化と秋田公立美術大学との連携をはかる ●地域資源を活かし、ものづくり、芸術・文化によるまちづくりができる施設の建設。具体的には、ガラス工房やアトリエ、ギャラリーを中心に、そのほかショップや飲食、交流の機能などをめざし、歴史と文化の継承、ものづくりの精神の伝承に取り組みます。

### 「新政酒造跡地活用推進協議会」とは

新政酒造跡地を核としたまちづくりの促進などを目的とする活動の一環として、5月に新政酒造跡地活用推進協議会を発足しました。新政酒造跡地と旧渡邊幸四郎邸を会場に、6月には「6.8鹿嶋祭PRイベント」、7月には湧水をテーマに「あらや水祭り」を開催しました。新屋振興会、新屋商店会、鹿嶋祭保存会、栗田養護学校、美大生のちやびちやび大学、あらや家プロジェクトなどが参画。後援として西部市民サービスセンターからご協力いただきました。

# 鹿嶋船ウエスター祭りから展示開始

## 保存会定期総会を終えて

平成二六年七月二十七日、日吉神社会館において新屋鹿嶋祭保存会第四回定期総会が開催されました。

前日まで新政酒造跡地活用推進協議会主催の「湧水の郷 あらや水祭り」が開かれており、同協議会の参加団体として会員の多くが水祭り成功に向けて奮闘しました。さて、鹿嶋祭保存会が発足してから三年間が経過しました。発足当初の事業目的に沿って順調な運営と活動を展開してきました。



今年も21の鹿嶋船が日吉神社に奉納した

今年一年の活動を振り返ると、第一に、昨年の「ウエスター祭り」において、全町鹿嶋船の「鹿嶋祭り写真展」及び「鹿嶋祭りの資料展」を催し、その後も秋田銀行新屋支店にて展示する機会を得ました。

第二に、平成二五年十一月、「鹿嶋祭り座談会」を開催し、有志四名から「昭和の時代」の鹿嶋祭の思い出、苦労話、経験談を語っていただき、鹿嶋祭が新屋町に与えてきた影響や今後の鹿嶋祭への熱い思いを語っていただきました。保存会では「鹿嶋祭座談会報告集」を冊子にまとめ、会員及び全町配布をしてきました。座談会で出された貴重な経験談、祭りへの提言、ご意見をこれからの事業活動や祭りに生かしていくことを誓いあいました。

第三に、平成二六年六月に「鹿嶋祭PRイベント」を開催し、新政酒造跡地を会場に、鹿嶋船の勇姿が集まるという試みが実現しました。

七月二十六日には同跡地で「あらや水祭り」が開かれ、新政酒造跡地を核とした「新屋まちづくり基本構想」を後押しする「湧水の郷」新屋をPRすることができました。新政酒造跡地活用推進協議会に

結集する新屋振興会、新屋商店会、鹿嶋祭保存会、栗田養護学校、ちやぶちやぶ大学、あらや家プロジェクト等の組織と個人の連携が力強い支えとなりました。

## 模範的な鹿嶋船の完成まで

第四には、鹿嶋祭保存会のかねてからの「夢で」あった「模範的な鹿嶋船の製作」について本格的な着手を開始しました。

鹿嶋船制作委員会を中心に、ウエスター祭り（九月二十六日～二十八日）を完成目途に作業を進めてきました。鹿嶋船の製作にあたっては鹿嶋祭保存会会員をはじめ、新屋地域の団体、会社、職人、美大生、サークル、個人など多くの御協力が寄せられました。



高美町の御協力で会館にて製作が進められた

真価が問われる大事業でしたが、保存会の総意と英知の結集体です。ウエスター祭りから鹿嶋船の展示活動がスタートしますが、ご来場者から楽しみ愛される新たな憩いの場所として大切に保管していきたいものです。

定期総会は、年間事業計画を決定し、事業部、製作部、調査研究部、実技部、広報部の部会が掲げる活動目標を確認し、新役員体制を確立し終了しました。

先人から受け継いだ素晴らしい「祭りの精神と財産」を次代に引き継ぎ、新屋の伝統とまちづくり、ひとつくりに貢献できる鹿嶋祭保存会活動を進めてまいります。

## 鹿嶋祭保存会新役員体制

- 会長 伊藤富美雄 大川町
- 副会長 鈴木富夫 愛宕町
- 副会長 富田 漣 十條団地
- 副会長 海風敏夫 下表町
- 総務（事務局） 藤枝隆博 大川町
- 総務（会計） 大塚正一 緑町
- 監事 小野良治 愛宕町
- 監事 渡辺憲一 笹町
- 顧問 石澤千秋 日吉神社
- 理事 赤坂光一 日吉神社
- 理事 斎藤政雄 日吉神社
- 理事 小林敏一 栗田養護学校
- 理事 小島初男 緑町
- 理事 川田直政 北新町
- 理事 南波郁夫 南新町
- 理事 高橋大和 関町
- 理事 富野勝輝 愛宕町
- 理事 安田 正 日の出町
- 理事 金澤國太郎 比内町
- 理事 岡田徳美 沖田町
- 理事 石田 元 南団地
- 理事 遠藤一記 田尻沢町
- 理事 今野周次郎 高美町
- 理事 高橋昭一 駅前町
- 理事 高橋 伸 上表町
- 理事 小玉隆太郎 中表町
- 理事 高橋 勝 十條団地
- 理事 大塚誠智 下表町
- 理事 狩野紀男 大川町
- 理事 佐々木宏治 笹町
- 理事 藤田友好 市営住宅
- 理事 阿部民樹 関町後

「保存会HP」「新政酒造跡地活用推進協議会」フェイスブックでご覧下さい。

『新屋鹿嶋祭保存会』URL:<http://araya-kashima.main.jp/>

『新政酒造跡地活用推進協議会』<https://www.facebook.com/araya.cd?ref=stream>

# 小さな光を集めて新屋の街づくりの船出



ステージでは力強い歌声が会場を魅了した

と半信半疑でしたが、空気がひんやりして、少しは涼しくなったと思います」と興奮気味に語ってくれました。

イベント会場では、秋田西中学校吹奏楽部が演奏を披露。ステージの周りには新屋商店会と栗田養護学校の喫茶「くりの木」が出店、生徒が店員となって湧水を使用したアイスコー

## 打ち水効果はいかに？

新屋の湧水を生かした夏イベント「湧水の郷 あらや水祭り」が七月二六日、秋田市新屋表町の新政酒造跡地及び旧渡邊幸四郎邸を舞台に開催されました。

開始を告げる風花火（狼煙）

を合図に、表町通り約2キロの道路や酒造跡地では湧水を使用して「打ち水」が一斉に行われ昔からの新屋の資源をアピール。桶と柄杓を手にした浴衣姿の親子連れは「子供と一緒に一生懸命打ち水をしました。温度が下がるのかな



冷たい湧水から流れるソーメン

ヒ、コーヒーフロント、かき氷、玉コンなど販売しました。その他、秋美生「ちゃぶ

ちゃぶ大学」の学生による湧水新屋カルピス、アトリエ「あらや家」メンバーの「アネハラ・アイス」など屋台が軒を連ね、地元農家の野菜も百円均一で好調です。来場者の楽しみは「百三段新屋会」「ひょうたん」の出店による生ビール、冷酒、焼きとりが売上好調で、喉の渇きを癒してくれました。

## 熱いステージ 小牟禮クラスも

ステージではまちなかコンサートが次々に行われコスベル、ベリーグダンス、バンド、ダンスなど

パフォーマンスも熱が入ってきました。アトフクシヨンは、かき氷早食い競争。優勝者には新屋温泉入浴券が贈られました。8メートルもの竹竿から湧水を使用した流しソーメンでは子供たちが何杯もお代りしていました。秋田公立美術大学

の静寂のキャンデルナイトから未来見える？ イベントの最後には、会場にろうそくが配られてキャンデルナイトのはじまりです。アナウンスの「新美酔」が

## 静寂のキャンデルナイトから未来見える？

イベントの最後には、会場にろうそくが配られてキャンデルナイトのはじまりです。アナウンスの「新美酔」が

語りかけます。「あらやの地が生み出した豊かな水、自然の資源は、新屋の塩、酒、醤油、しょっつるなど豊かな食文化を造りました。この大きな湧水を題材にあらや水祭りが企画され、たくさんの人々が加わり出来上がりました。ろうそくは小さな光ですが、空から見れば大きな光の回りに見えるはず。一人ひとりの火を大切に寄せ合って、この地から新屋の新しい街づくりが始まります！」その後一斉にキャンデルの火が消され、しばしの静寂が支配しました。「閉じた瞳の奥にまだ灯が見えていますか？新屋の新しい未来が見えていますか？」

## 打ち水効果

### 路面温度【参画屋前】

打ち水前	48.	3℃
打ち水後	35.	3℃
温度差	-13.	0℃

### 気温（地上高1.3で検測）

#### 【旧渡邊幸四郎邸前】

打ち水前	36.	0℃
打ち水後	34.	1℃
温度差	-1.	9℃

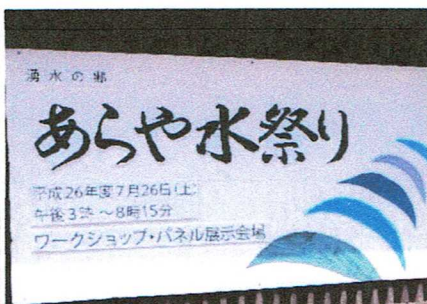
## 来年の夏、いかがですか？

「打ち水」とは、夏の「涼」を感じる風物詩のひとつ。玄関や庭先に水をまき、暑さをしのいだり埃が舞うのを抑える昔からの風習です。「場を清める」という意味合いから、お客様をお迎えする心遣いとして始まりました。

最近では「打ち水」は珍しい風景ですが、節電や温暖化現象の対策として見直されています。



ポスター・看板製作あらら家、毛筆文字は書道家高島智柳さん



新屋竿燈会の演技と太鼓



ゴスペル、ベリーダンス、アマチュアバンド演奏



新美酔の舞衣花さんと美佳さん



←司会進行役の2人組→



秋美生の和佳さんと楓和さん



## 湧水の郷「あらかや水祭り」への御礼

今年の厳しい暑さも一段落しましたが、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この夏7月26日(土)、新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸を会場に実施いたしました湧水の郷「あらかや水祭り」につきましては、多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

おかげさまで、当日は水祭りにふさわしい好天に恵まれ、表町通りでの打ち水、ライブパフォーマンス、竿燈の妙技、流しそうめん、湧き水を使った飲み物の提供など多彩な催しにより、会場に詰めかけて下さった多くの方々に笑顔をお届けすることができました。

また、秋田市が「新屋まちづくり基本構想」を策定し、今、まさに新政酒造跡地を核としたまちづくりが進められようとするなかで、関係者の連携強化と実現に向けた機運の醸成に大きく貢献できたものと考えております。

これもひとえに本イベントの趣旨をご理解いただき、ご協力いただいた皆様のおかげと、心から感謝申し上げます次第です。

本協議会といたしましては、今後とも、こうしたイベントの実施を通じて、新政酒造跡地を核としたまちづくりの推進ひいては新屋地区の活性化に寄与してまいりたいと存じます。



このたびのご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本協議会の活動に対するご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。お礼のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

平成26年9月吉日

新政酒造跡地活用推進協議会

会長 小島 初男